



- 1 フレッシュマンをご紹介します！
- 2 **羅針盤** プロ意識を自覚する
- 4 躍進が考える木材と日本文化 ①
- 6 シロアリ駆除の現場です！
- 7 「足場パック」サマーキャンペーン也大詰め！
- 8 インテリアを考える

フレッシュマンをご紹介します！



躍進のニューフェイス

しゅう い けん
周 偉健 (20) 2024年4月入社

躍進に入社した最大の動機は、シロアリ被害から1人でも多くの方を守りたいという使命感です。実は私の実家でシロアリ被害が発生し、「これ以上同じような不幸な人を増やしてはいけない」という気持ちを以前から抱いていたのです。

それでも最初の就職先は食品工場でした。しかし流れ作業のような仕事にやりがいを見出すことができず、就職専門のアドバイザーに相談したところ躍進を紹介され、新築の防蟻(木材保存)工事を手掛けていることを知り、「自分のやるべき道はこれだ！」と確信し入社した次第です。現在は群馬営業所・技術部に在籍し、点検業務を含め防蟻(木材保存)工事のいろはを学んでいる最中です。

趣味はバスケットボールの試合を観戦することで、NBA(ナショナル・バスケットボール・アソシエーション)には、好きな選手がたくさんいます。

当面の目標は、1日も早く一人前の社員となり、後に続く後輩の手本になることです。そして人生の目標ですが、若輩ゆえに未だ明確なものは掴めていません。しかし今後、様々な経験を積む中で、これだ！と思うものに巡り合った時は必ずそれを掴み取り努力を重ね、自己実現、自己超越を果たしたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

プロ意識を自覚する



自覚・責任感・専門知識・スキル・熱意

プロフェッショナル（以下プロとします）とは、どういう存在でしょうか。一言で言えば、仕事をすることによって報酬を得ている人は既にプロであります。もっと厳密に言えば、その仕事だけの収入で生活できる人が真のプロなのです。

そして躍進は、全員プロでありプロ集団です。それにはプロ意識を自覚していることが必要最低限の条件であると全員が認識しております。

では、仕事におけるプロ意識とはどのようなものでしょうか。自分の仕事に対する高い自覚や責任感を持ち、専門知識とスキルを活用して熱意を持って取り組むことを指します。この「自覚」「責任感」「専門知識」「スキル」「熱意」の5つの要素によって、プロ意識が構成されます。

プロ意識を高める5つの方法

そんなプロ意識を高めるためには、5つの実践事項があります。まず1つ目ですが、創意工夫し人を喜ばせる心を持つことです。相手が喜ぶ方法を考え、常にプラスアルファのアイデアを提案する姿勢が大切です。どんな環境でも相手の期待を超える成果を出す意識を持ちましょう。

つまり、現場ごとの条件に合わせて、最高の成果を実現することです。創意工夫をしようという意欲がなければ、「これは手に負えませんね」と言って放棄するだけです。そんな逃げの姿勢では、いつまでたってもプロ意識は醸成されません。

2つ目は、すべてのことには意味があると自覚することです。仕事が希望していたものと違う場合でもそれに意味があると捉え成長の機会として受け入れる姿勢がプロ意識です。

いつも同じ条件、同じ難易度をルーティンワークのようにこなしているだけでは、一切の成長はありません。なぜなら成長は困難を克服することではじめて成し得るからです。

むしろ、仕事が希望していたものと違う場合を有難いと思うくらいで丁度良いのです。その際に行う創意工夫の積み重ねが、ベテランと呼ばれる存在を作り上げるのです。そうしてベテランは、「引出し」を多くしていくのです。

3つ目は、自己基準を高め続けることです。自分の技術や知識を向上させ、相手に感動を与えられるほど極めている人がプロと呼ばれます。現在のスキルや環境に関わらず、成長意欲を持ち続けましょう。

要するに、進んで「困難よ来たれ！」と思うくらいでなければ、プロと呼ばれる資格を得ることは永遠に不可能だと思って良いでしょう。

4つ目は、プラスに解釈する習慣を身につけることです。問題や課題を前向きに捉え、解決策を探す姿勢が大切です。ミスチャンスを捉えて改善に取り組むこともプロ意識の一環です。

特に、ミスをチャンスに捉える姿勢は大事です。PDCA サイクルで一番重要な C (チェック) の部分に相当し、チャンスを生み出す根拠になるからです。発明王エジソンの有名な言葉である「私は失敗をしたことが無い。うまくいかなかった方法を見つけたただけだ」こそ、ミスをチャンスに捉える姿勢の代名詞ともいえるべき言葉です。

最後の5つ目ですが、常に万全の準備をすることです。予想外の状況にも対応できるよう、準備を怠らないことが重要です。段取り八分という言葉があるように、アメリカ合衆国第16代大統領エイブラハム・リンカーンは「木を伐るのに6時間与えられたら、私は斧を研ぐのに4時間を費やす」と答えているように準備は重要なのです。

これはまさに、アメリカの経営コンサルタントであるスティーブン・コヴィー氏のベストセラー『7つの習慣』で示されている、自分がなすべきことのなかで、緊急ではないが重要である「第二領域」を最重視し実践している姿でもあります。

自分次第でプロ意識は高まる

プロ意識は誰にでも身につけられるものであり、自分の仕事に対する意識を高めて行動することが大切です。つまりプロ意識は自分次第で高まっていくものなのです。前述の5つの方法も、今すぐはじめてこそ「自分次第の証明」になると言えます。

皆様がどんな環境であろうと、お客様の期待を超える成果を出す意識を持ち続けてください。そうすることで、期待通りの「満足」を超えた、期待以上の「感動」を実現できるのです。そんな真のプロ意識を発揮していきましょう!!

躍進が考える 木材と日本文化 ①



我が国の建築文化は木材で成り立っています。木材を守ってこそ国民の住文化を守ることにつながるのです。そんな木造建築は、日本だけでなく古くから世界各地にあり、その土地の樹木を用いて人々の生活や文化に深く根ざした建築スタイルです。自然な美しさや温かみ、そして持続可能性から現代でも広く愛され利用されています。

しかし、木材は腐朽や虫害などの影響を受けやすく、その耐久性を高めるためには適切な保存処理が必要です。こうした点を踏まえて、本号から「木材と日本文化」についての連載を始めます。1回目はそんな「**木造建築の重要性**」から学んでいきましょう。

木材は再生可能な自然素材

木造建築は、環境への優しさに最大の特徴があります。木材は再生可能な資源であり、樹木は二酸化炭素を吸収し酸素を創り出し、環境への負荷を低減する役割を果たします。また、木材は自然素材であり、その特性から生まれる空気中の湿度調整や断熱性能などが建物内の快適性を生み出します。さらに木造建築は、その快適性や健康への配慮から、住宅だけでなく公共施設などにも幅広く利用されています。

そんな樹木や、そこから生まれる木造建築は、守らねばならない大事な日本の文化であることを忘れないでください。それを実施しているのが躍進の木材保存事業です。木材保存事業は、木材の耐久性を向上させるための重要な取り組みです。木材を腐朽や虫害から保護し、その寿命を延ばすことで木造建築の持続可能性を向上させます。

また、木材の保存処理により資源の無駄を減らし、環境負荷を軽減することが可能となります。さらには、世界各地の木造の文化遺産も、木材保存事業によって長期間にわたって保存し後世に伝えることが可能となります。そんな木造建築は、その歴史的な意味や環境への配慮から現代でも多くの人々に愛されています。しかし、木材の耐久性を高めるためには、適切な木材保存処理が不可欠です。

神社仏閣の木材保存にも注力

躍進の木材保存事業は、木造建築の持続可能性を支えるものですが、文化遺産の保護や環境保全にも貢献しています。特に、神社仏閣の木材保存にも注力しています。神社仏閣は日本文化における歴史的・文化的な遺産であり、多くの人々にとって精神的な支えです。

そんな神社仏閣の建築には、常にその保存に関する課題が存在します。神社仏閣を形作る木材は腐朽や虫害などを受けやすいからです。多くの神社仏閣は国の文化財や重要文化財に指定され、信仰の対象として多くの人々に親しまれていますが、建物が老朽化や劣化してしまうと、信仰の対象としての価値が低下する可能性もあります。

しかし、木材保存によって建築物の耐久性を向上させることで、信仰の対象としての存在感を維持し、人々の精神的な支えを太くさせます。何よりも木材保存は、環境保全にも貢献し、木材を長期間利用することで不必要な木材の伐採や廃棄物の排出量を削減し、森林資源の保護につながるのです。

木材保存への注力は、これらの貴重な建築物を長期間にわたって維持し、後世に伝えるための重要な取り組みです。同時に環境への負荷を軽減し、持続可能な社会の実現にも貢献します。特に神社仏閣の木材保存には、文化的・宗教的な観点だけでなく、環境や社会全体への配慮も含めた総合的なアプローチが求められます。

躍進の木材保存事業プレゼンテーション

躍進の木材保存事業のプレゼンテーションは、木材を腐朽や虫害から保護しその耐久性や利用価値を向上させることで、木材の寿命を延ばすための処理技術を提供することです。

木材は腐朽や虫害により耐久性や利用価値が低下してしまいます。そこで専門的処理技術により、木材の耐久性を向上させ寿命を延ばしているのです。それは持続可能な資源利用に大いに貢献するものです。

躍進が選択した処理技術は、**薬剤散布と『Air 砲』+撥水处理(神社仏閣の木部向け)です**。これにより防腐剤が木材の細胞に浸透し腐朽や害虫から保護します。処理された木材は長期間にわたって耐候性を保持し寿命が延びるのです。

躍進の木材保存・処理技術は、木材の寿命を延ばすために必要不可欠であり、お客様のニーズに合わせたサービスを提供しています。これからも持続可能な木材利用を推進していきます。ご質問やご意見がございましたらお気軽にお知らせください。お待ちしております。

シロアリ駆除の現場です！

今回は、躍進のシロアリ駆除の現場をご覧くださいと思います。まずは、最も厄介なアメリカカンザイシロアリの駆除です。



アメリカカンザイシロアリとは、文字通り北米原産で、最大の特徴は、地中に棲まないシロアリであるということです(上写真参照)。アメリカからの輸入材に紛れて侵入してくるもので、その名の通り乾燥した木材(含水率10~20%程度)をエサにしていることに由来します。ヤマトシロアリやイエシロアリとは違い、地中から上がってくるのが無いので発見が遅れて、見つかった時には、被害が甚大な規模に及んでいることが多いのです。



次に、ウッドデッキに発生したシロアリの被害部分です(上写真参照)。雨曝(あまざら)しの木部はシロアリの最高の居住空間です。屋外に置きっぱなしになっている木材がありましたら確認してください。そしてもしシロアリの発見したら躍進までご連絡ください！

「足場パック」サマーキャンペーン也大詰め！

躍進は現在、リフォーム総合提案「足場パック」のサマーキャンペーンもいよいよ大詰めを迎えております。その代表商品が、『飛驒炭 床下調湿材』『カーボエース』『床下用攪拌・換気システム』の「床下3点セット」(写真参照)です。

セラミック炭から作られた脱臭調湿材『飛驒炭 床下調湿材』は、床下に1坪あたり約12袋敷つめるだけで床下の湿気をコントロールします。底面をフィルム加工してありますので地面からの湿気もシャットアウトします。

同じく、セラミック炭から作られた土壌改良材『カーボエース』は、保肥性、保水性に優れ、病害虫の発生を抑制します。また、土中から放出されるガスを吸着するほか、pH調整機能、土中有効微生物の繁殖促進効果もあります。

『床下用攪拌・換気システム』は、中央部設置によるダイレクト換気(新方式)により1台で20坪までの床下をカバーします。これは、従来の床下換気扇3台分に相当します。換気と攪拌機能を同時に搭載した高効率換気システムであり、床下中央部の高湿エリアをダイレクトに攪拌換気します。これにより、布基礎や基礎パッキン工法、基礎断熱工法等、あらゆる構造の床下に設置可能です。

「床下3点セット」のご注文、お問い合わせは躍進までお気軽に。



インテリアを考える 住宅コラム

インテリアへのこだわりが強い方はたくさんいらっしゃいます。しかし実際には、自分の理想のイメージが実現できていない方が多いようです。これについて、あるハウスメーカーが調査(2024年5月11日~19日まで 有効回答数は766人)した結果、3割以上の方がこだわりを持っていることが分かりました。

そして、自宅のどの部分のインテリアにこだわっているかという質問に対して、約6割の方がリビングと答えています。しかしリビングは家族が集まる空間であり、それぞれの生活感が一緒くたになりやすい部屋でもあるのです。

ひと昔前までは、家を新築するとそれまで使っていた家具はそのまま流用するのが当たり前でした。そのためフローリングのリビングに、大きな桐箆笥が鎮座している家などは枚挙に暇(いとま)がないほどあったのです。

これを解消するために。家具は使い捨てるものという概念が生まれ、輸入雑貨や手ごろな価格帯の家具に人気集中し、独身から結婚して賃貸マンション、そして一戸建てを購入する際、家具もすべて、新たな住まいにベストマッチしたものに入れ替えるようになったのです。

また、インテリアコーディネーターの活躍も見逃せません。「この部屋にはこの予算ならこれがベストマッチ」という最高の提案ができるからです。またインテリアコーディネーターを通じて、工務店様にオーダーメイドの家具制作を仲介依頼するケースもたくさんあります。

当然、工務店であればカウンターや収納スペースなどの造り付けのインテリアをオーダーメイドで受注し、部屋に最もマッチした最高のインテリアを実現することが可能です。また家具職人とのコラボによって、1から家具を制作するか、既存の家具をアレンジするなどの工夫もできます。

工務店がインテリアの制作・チョイスに積極的に関わることで、住まいに統一感が生まれます。当然ながら寸法が合わないなどの悩みも解消されるので、使い古した家具の寄せ集めによる生活感を排除する提案ができることを忘れないでください。

<p>株式会社 躍進</p> <p>本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615</p> <p>東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542</p> <p>URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com</p>	<p>関連会社 不動産事業 株式会社 ヤクシンジャパン</p> <p>関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ</p>	<p>事業内容</p> <p>防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き</p> <p>木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気等</p> <p>塗装工事：各種塗装</p> <p>外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁等診断</p>
---	---	--